決済連携 着手点検表・国内PG・簡単決済

金額検証、状態遷移、再試行と運用引き継ぎの準備表

導入の判断と実行のためのIXC実務資料

2026.09 発行 · 日本語版 · PDF + Excel記入様式

この資料の活用

決済開発に必要な契約・環境・状態のルールを決め、成功と失敗のシナリオの検証結果を残します。

決済連携を始めるサーバー開発者、PM、QA・運用担当者

目次

01 環境と決済手段ごとの着手条件を確認します 3

02 金額と状態の基準をサーバーに置きます 4

03 再試行とWebhookの重複を処理します 5

04 正常経路と例外を併せて検証します 6

05 運用担当が取引を探せるようにします 7

記入と活用

PDFの基準を読み、空欄に実際の条件と未確認の項目を記入します。同じ部門のExcelには資料ごとの記入シートがあります。記入例は、実際の顧客事例や確定した見積もりと区別してお使いください。

出典を明記すれば、社内検討と業務遂行のために引用・改変してご利用いただけます。最新のファイルは www.ixc.co.kr/ja/assets でご確認ください。

環境と決済手段ごとの着手条件を確認します

テスト連携に必要な準備と、本番での実決済を開始する条件を分けます。ドキュメント用のテストキーで使える機能と、加盟店ごとのテストキーが必要な機能を確認します。本番キーの発行と決済手段の有効化は、リリース準備の項目として別に追跡します。

決済連携の環境表

準備項目	テスト環境	本番環境	担当・状態
加盟店ID・キーの保管先			
契約・有効化済みの決済手段			
SDK・APIのバージョン			
戻り先アドレス（決済・成功・失敗）			
Webhookのアドレス・購読イベント			
照会・取消・精算の権限			

キーの値そのものは環境表に記入しません。サーバーのシークレットは、クライアントのコードやリポジトリに露出しないよう保管し、管理担当を決めます。アプリから外部の決済画面への移動と復帰、ブラウザの切り替えは、別の環境として検証します。

> **記入例**
>
> カードのテストは先に進めますが、仮想口座は当該加盟店のテストキーと入金イベントの準備を確認してから実行します。まだ審査中の決済手段は、本番画面に表示する時期を別途決めます。

金額と状態の基準をサーバーに置きます

決済画面が閉じたり、成功時の戻り先アドレスに戻ったりといった画面上の動きだけで、注文を決済完了として処理しません。サーバーに保存した注文番号・金額・通貨を承認要求と照合し、決済会社で確認された結果を注文状態に反映します。

注文・決済の状態遷移表

現在の状態	発生条件	次の状態・処理	確認の根拠
記入例：決済要求	認証完了・サーバーでの金額検証	承認結果を確認後に注文へ反映	注文・決済会社の取引ID
記入例：入金待ち	仮想口座への入金確認	決済完了と履行開始	照会・入金イベント

設計項目	確定するルール	検証する状況
最終金額	商品・割引・ポイントをサーバーで計算	画面上の金額変更・期限切れクーポン
取引識別子	注文・決済・取消IDの紐づけ	1注文あたり複数の決済試行
未確認状態	照会・保留・アラートの条件	応答遅延・接続断
部分取消	元取引・取消累計・残額の管理	部分取消の繰り返し・残額超過

仮想口座は、発行と入金完了が別の状態です。決済、返金、配送・利用権の状態も区別します。状態遷移を起こした要求とイベントの識別子を残しておけば、顧客からの問い合わせでも同じ取引を探せます。

再試行とWebhookの重複を処理します

決済要求は処理されたのに、応答だけが失われることがあります。この場合は、新しい取引として承認し直す前に元取引を確認します。冪等キーは同じ操作を識別するキーで、適用するAPIと保管条件は決済会社の仕様に合わせて決めます。

再試行・受信処理のルール表

状況	識別・重複の基準	処理・再照会のルール	終了・アラートの条件
承認応答の欠落			
取消要求の再送			
Webhookの重複受信			
遅れて届いた状態通知			
処理失敗・度重なる失敗			

Webhookは決済会社の文書が定める認証・検証方法で確認し、受信記録と業務処理の状態を区別します。同じイベントが再び届いても、注文の履行や返金が重複しないよう処理します。状態通知の順序だけを信用せず、状態が食い違う取引は照会して確認します。

> **記入例**
>
> 取消の応答が途切れた場合は、同じ取消操作の識別子で既存の処理状態を確認します。Webhookは受信したものの内部での反映に失敗した件は、処理待ちの記録に残します。再処理の完了と決済会社側の最終状態を照合してからクローズします。

正常経路と例外を併せて検証します

正常な決済一件で基準となる動作を確認してから、失敗と取消の経路へ広げます。決済手段とウェブ・アプリの環境ごとに、適用するシナリオを決めます。各結果には、注文状態と顧客の画面、サーバーの記録が同じ意味を示しているかを残します。

決済リリース前のシナリオ表

シナリオ	期待結果	実行・証跡	欠陥・担当
正常決済・注文への反映	サーバーの承認と金額・状態の一致		
認証中断・決済画面からの離脱	未決済扱い・再試行経路の提供		
金額の不一致・重複要求	誤った承認・重複履行の防止		
応答の欠落・Webhookの再送	照会で復旧・重複処理の防止		
部分取消・全額取消	取消累計と残額の一致		
仮想口座入金・期限切れ	入金の前後で注文状態を区別		

> **記入例**
>
> 決済の承認応答を受け取る前に通信が切れた状況を、テスト環境で再現します。顧客に再決済を求める前に、既存の取引を照会しているかを確認します。元取引が承認されていた場合、商品や利用権は一度だけ提供されなければなりません。

決済手段のポリシー上実行できないシナリオは「該当なし」と表示し、理由を残します。環境の問題で実行できなかった項目は「ブロック」、実行しなかった項目は「未実行」として区別し、リリース条件につなげます。

運用担当が取引を探せるようにします

決済のリリースには、照会画面と連絡経路も含めます。サポートが注文番号で承認・通知・取消の履歴を探し、開発担当は同じ識別子でログを確認できる必要があります。返金の実行とルール変更の権限は、照会権限と分けて割り当てます。

決済運用の引き継ぎ表

引き継ぎ項目	場所・アクセス権	受け入れ担当	確認結果
注文・決済の統合照会			
エラー・未確認の取引のアラート			
返金の要求・承認・実行手順			
決済会社への申告・緊急連絡			
精算ファイル・項目定義			
リリース・切り戻し計画			

本番移行の後は、合意した検証用の取引で、承認・取消の結果と精算資料のつながりを確認します。実行担当と承認、確認範囲をリリース計画に定めます。テスト結果だけで、本番の決済手段と精算データの準備が整ったとは表示しません。

> **リリース判断に残すもの**
>
> 本番の決済手段とキー設定、シナリオ結果、未完了項目、取引照会・返金・精算の担当を一つの記録に結びつけます。残る条件があれば、完了担当と次の確認時点を指定します。

発行・ご利用について

契約済みの決済手段と現在の注文構造をもとに、承認・取消・返金の状態、例外処理とリリース検証の範囲を決めます。

IXC Corp.（アイエックスシー）

代表取締役 ナム・ギチョル | 事業者登録番号 109-86-56732
大韓民国 江原特別自治道春川市後石路462番キル7
春川ICTベンチャーセンター4階408号
+82-33-242-0210 | info@ixc.co.kr

www.ixc.co.kr

www.ixc.co.kr/ja/services/payment-integration

www.ixc.co.kr/ja/assets/payment-integration-checklist

参考資料

Toss Payments 注文書型決済の連携（韓国語）

https://docs.tosspayments.com/guides/v2/payment-widget/integration

Toss Payments コアAPI：照会・取消・冪等キー（韓国語）

https://docs.tosspayments.com/reference

Toss Payments Webhookの接続（韓国語）

https://docs.tosspayments.com/guides/v2/webhook

IXC 電子決済連携

https://www.ixc.co.kr/ja/services/payment-integration